

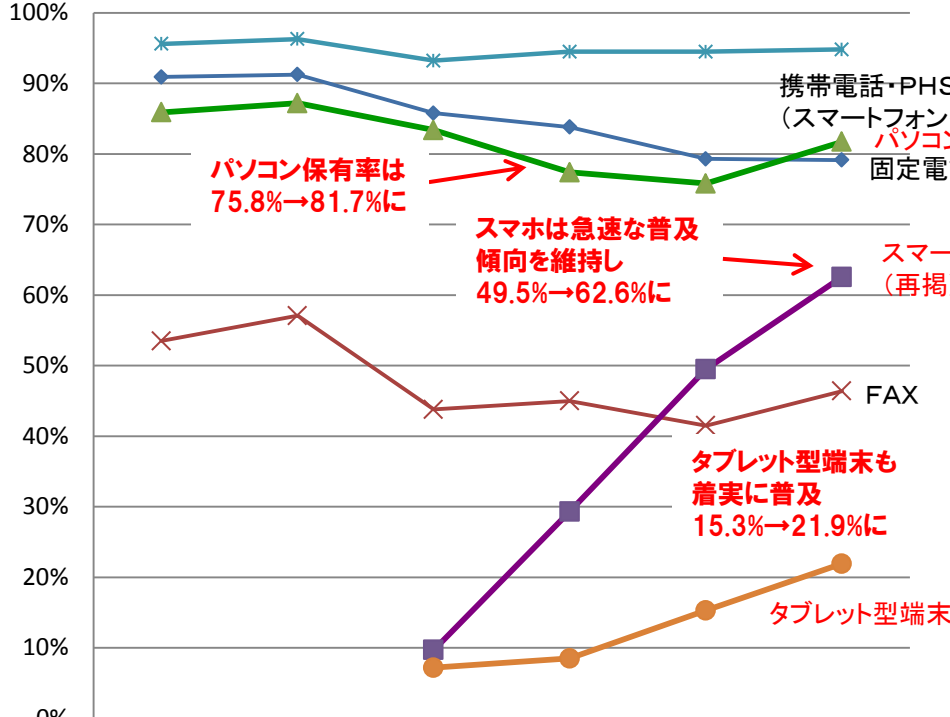
平成25年通信利用動向調査 ポイント

※タイトルに(世帯)と付した項目は世帯調査、(企業)と付した項目は企業調査、その他は世帯構成員(個人)調査結果に基づく。

1 主要情報通信機器の普及状況

主な情報通信機器の世帯保有状況(平成20年～平成25年)

パソコン保有率は回復、スマートフォン、タブレット型端末保有が着実な伸び。

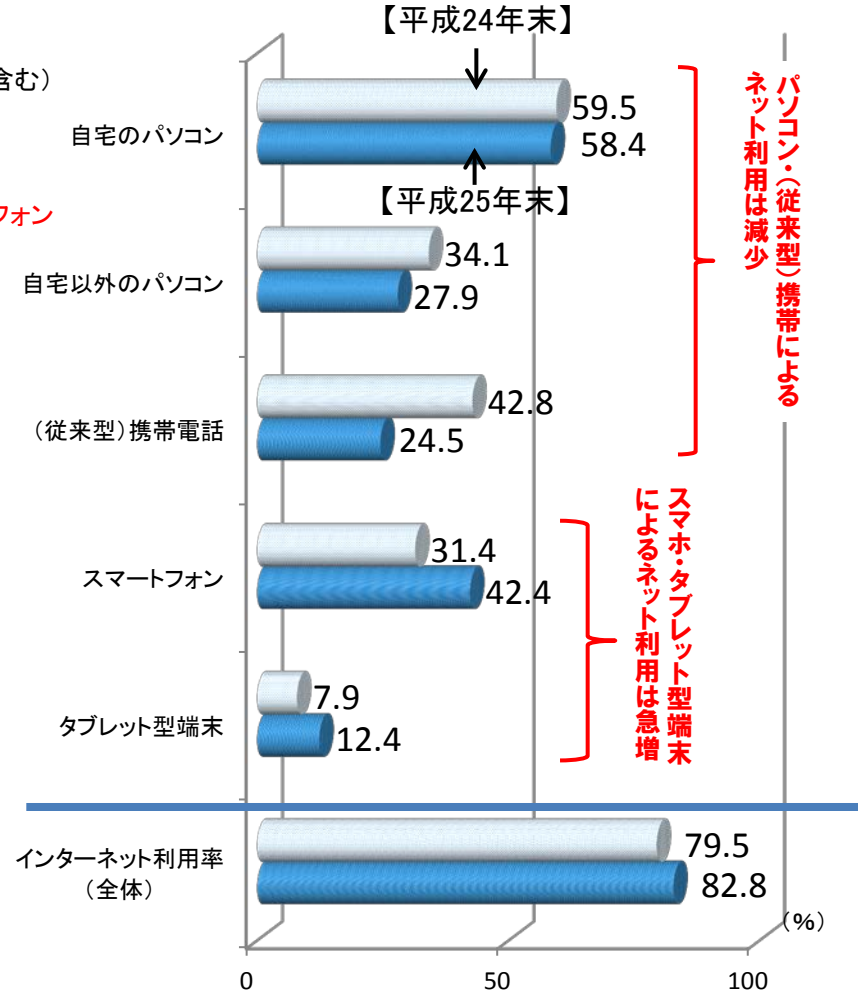


	平成20年末 (n=4,515)	平成21年末 (n=4,547)	平成22年末 (n=22,271)	平成23年末 (n=16,530)	平成24年末 (n=20,418)	平成25年末 (n=15,599)
固定電話	90.9	91.2	85.8	83.8	79.3	79.2
F A X	53.5	57.1	43.8	45.0	41.5	46.4
パソコン	85.9	87.2	83.4	77.4	75.8	81.7
(再掲)スマートフォン			9.7	29.3	49.5	62.6
携帯電話又はPHS	95.6	96.3	93.2	94.5	94.5	94.8
タブレット型端末			7.2	8.5	15.3	21.9

※当該比率は、各年の世帯全体における各情報通信機器の保有割合を示す。
 ※「携帯電話・PHS(スマートフォンを含む)」は、平成22年末以降において、スマートフォンを内数に含む。なお、スマートフォンを除いた場合の保有率は、平成24年末は81.2%、平成25年末は76.5%である。

端末別インターネット利用率

スマートフォン、タブレット型端末によるインターネット利用が急増。



平成25年末(n=38,144)
 平成24年末(n=49,563)

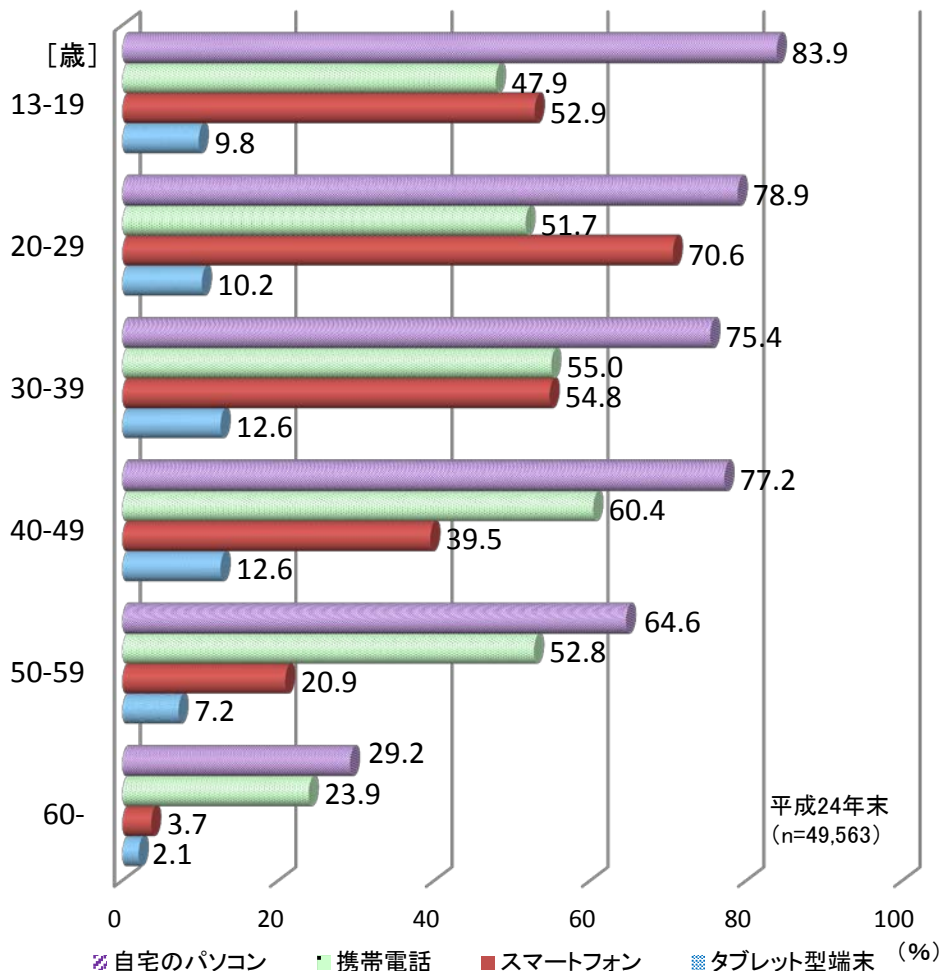
※当該比率は、各年の世帯構成員(個人)のうち、当該端末を用いて各年の1年間にインターネットを利用したことのある人の比率を示す(複数回答、無回答を除く)。

2 インターネットの利用動向①

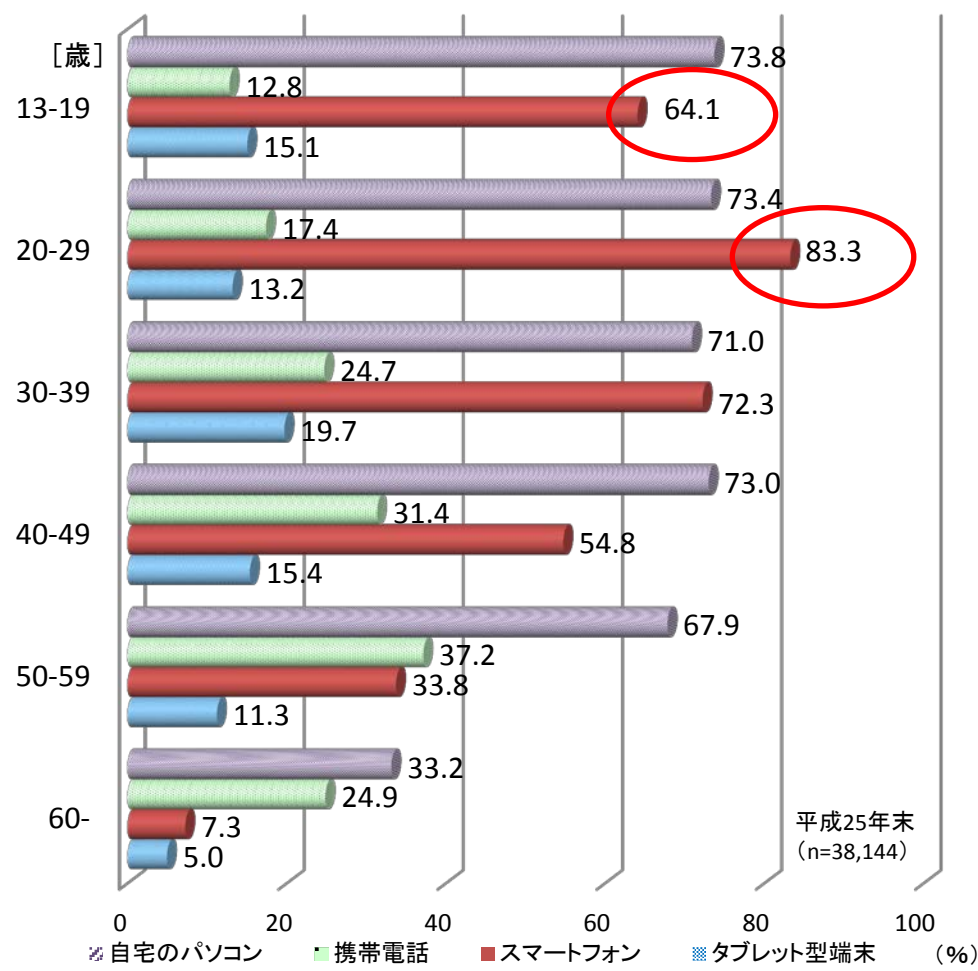
世代別インターネットの利用の状況

50代以下の世代でスマートフォンの伸びが顕著に。とりわけ30代以下では、従来型携帯電話の減少が顕著。

【平成24年末】



【平成25年末】



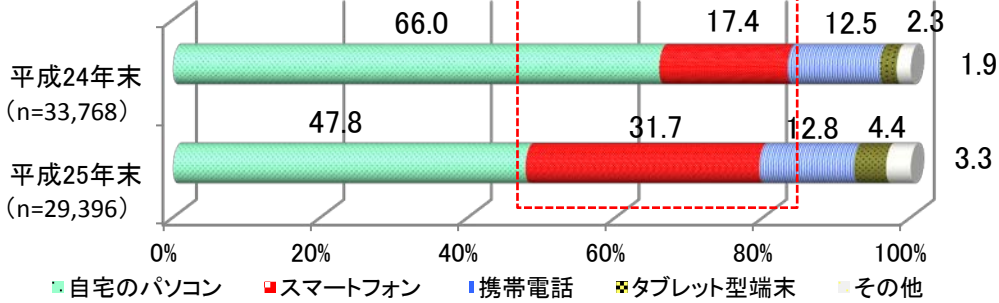
※ 平成24年末については、「平成24年通信利用動向調査」報道資料より抜粋。
 ※ 当該比率は世帯構成員(個人)のインターネットの利用割合を端末別・年齢階層別に示したものである(無回答を除く。)
 ※ 携帯電話には、スマートフォンを除く。

2 インターネットの利用動向②

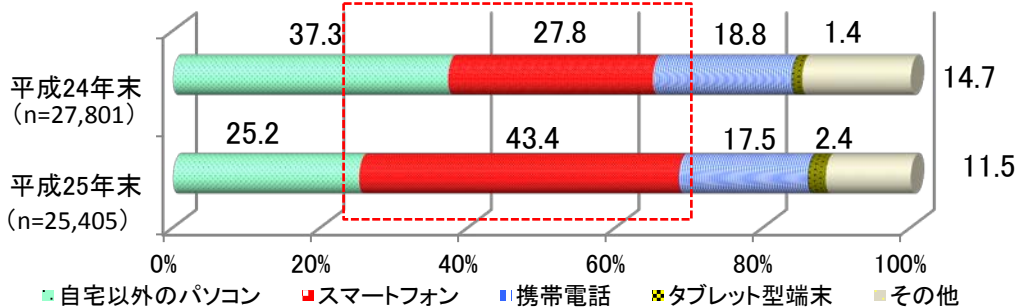
家庭内外で主としてインターネット接続に使う端末 (インターネット利用者に占める比率)

主たるネット接続端末としても、家庭内外でスマートフォンが急速な伸びとなっている。

【家庭内インターネット利用】

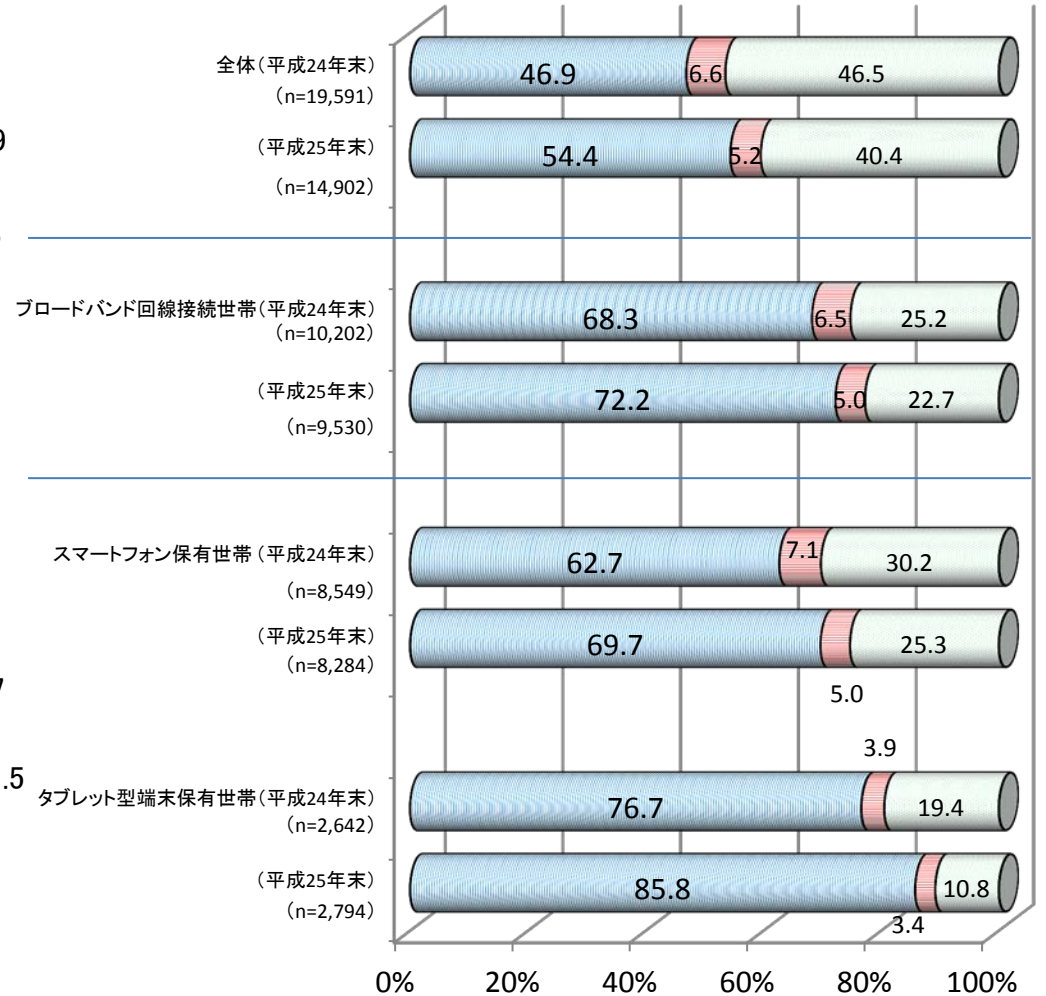


【家庭外インターネット利用】



家庭内無線LANの利用率(世帯)

スマートフォン・タブレット型端末保有世帯の家庭内における無線LAN利用率は増加傾向。

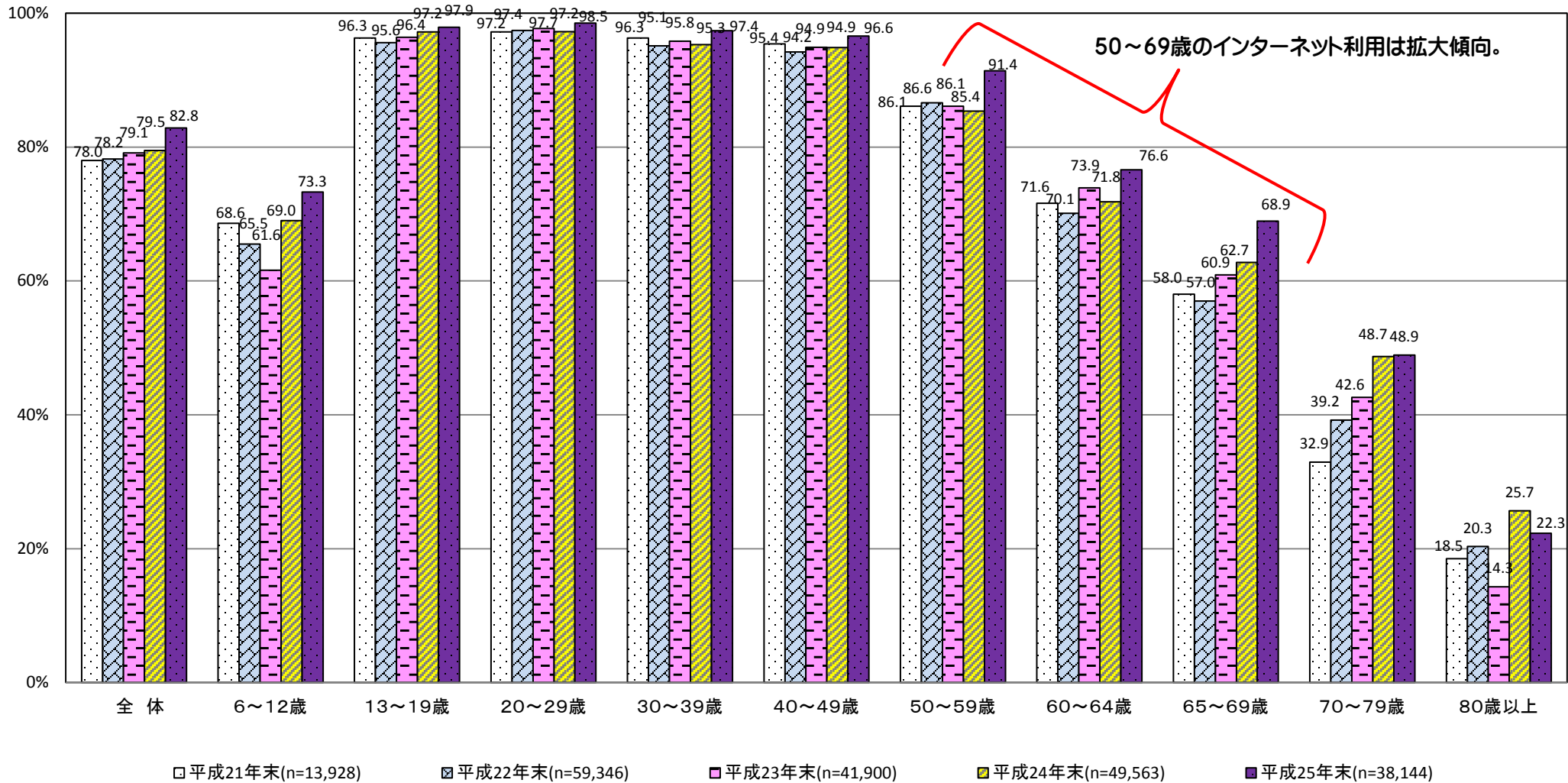


※ 当該比率は家庭内・家庭外におけるインターネット利用者のインターネット接続時に主に利用する端末の割合を示したものである(無回答を除く)。
 ※ 「その他」には、家庭内ないし家庭外では利用しないとの回答を含む。

□ 利用している □ 導入する予定がある □ 導入の予定もなし (無回答を除く)

2 インターネット利用動向③ (年齢階層別インターネット普及率)

13歳～59歳のインターネット利用率が9割を超えており、50～69歳のインターネット利用は拡大傾向。



(注)「全体」は6歳以上人口をさす。「無回答者」を除いて集計。

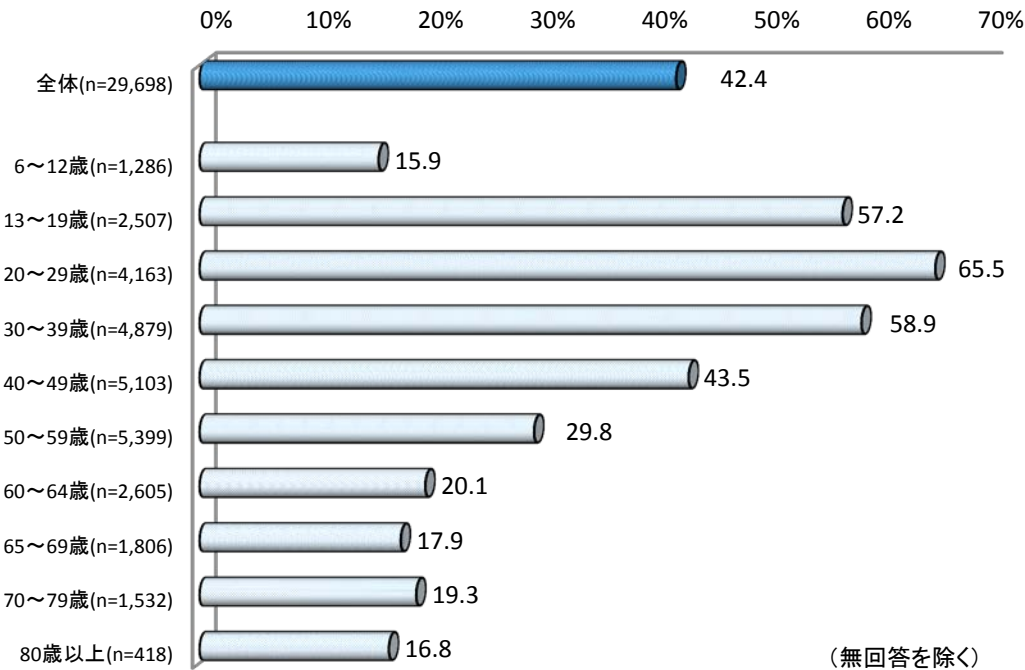
3 ソーシャルメディアの利用動向

利用者、企業共にソーシャルメディアサービスの利用が拡大傾向。

ソーシャルメディアの利用状況

13～39歳におけるソーシャルメディアの利用が5割を超える。

【ソーシャルメディアの利用】

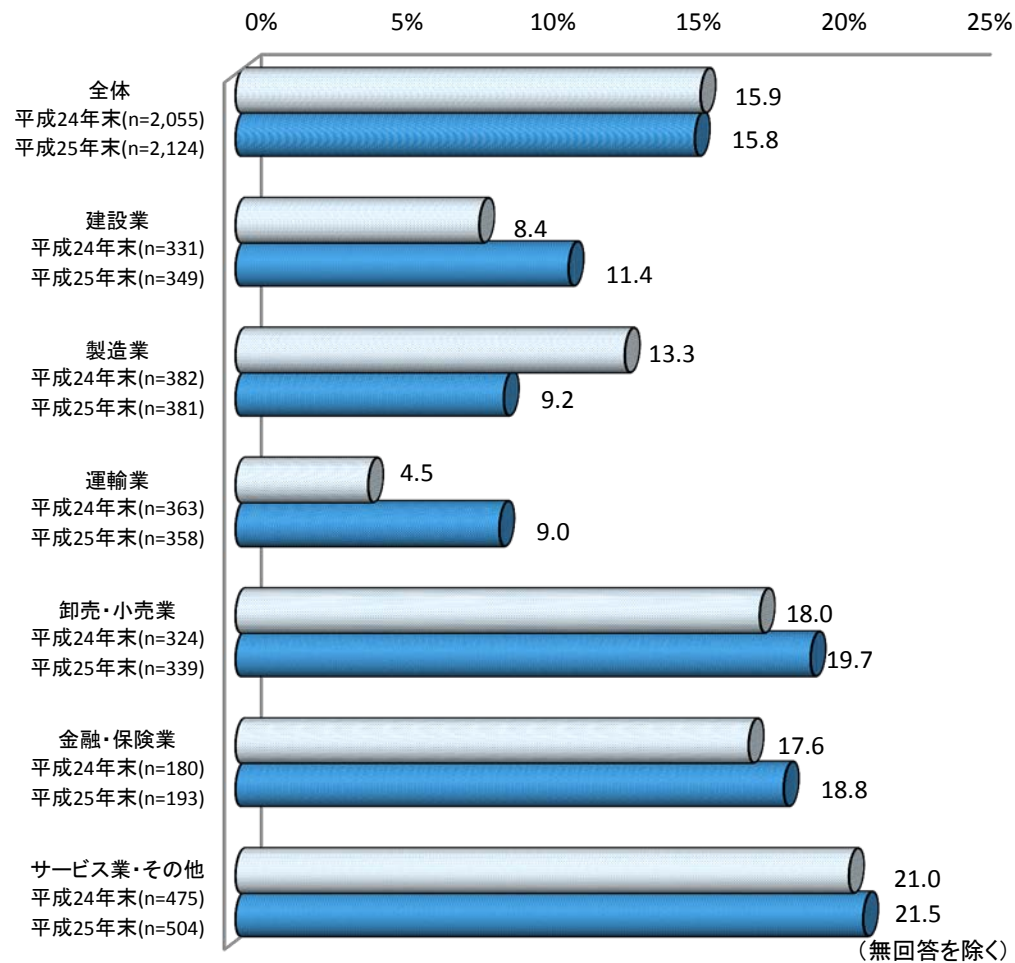


(注) ソーシャルメディアとは、複数の人とインターネットでやるとりできる情報サービスのこと。

企業におけるソーシャルメディアサービスの活用の状況

「サービス業・その他」、「卸売・小売業」、「金融・保険業」の約2割の企業がソーシャルメディアサービスを活用。

【産業別】

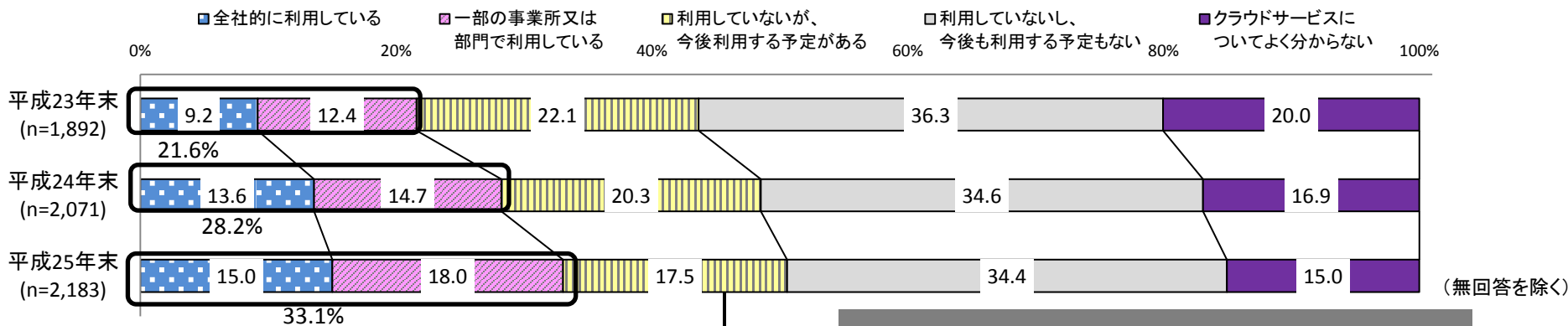


(無回答を除く)

4 クラウドサービスの利用状況(企業)

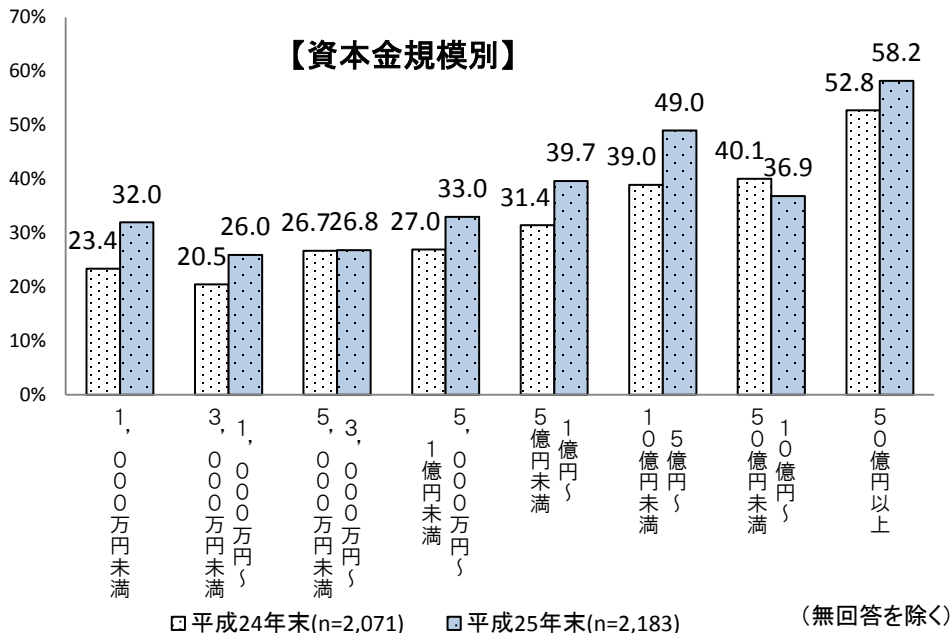
クラウドサービスの利用状況

クラウドサービスを利用している企業の割合は28.2%から33.1%に拡大。



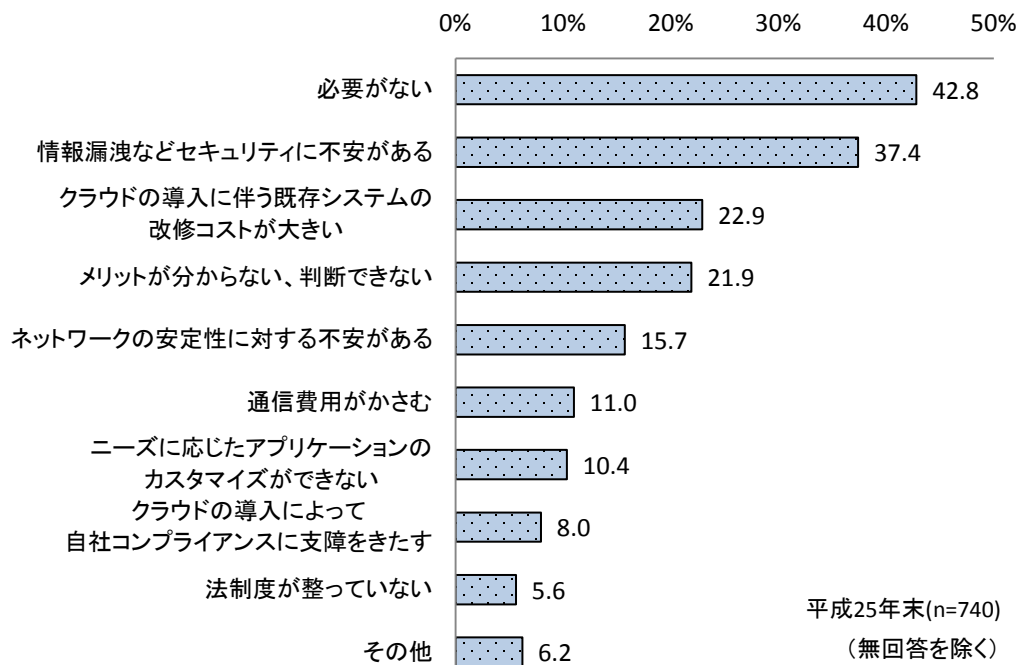
資本金規模別クラウドサービス利用状況

クラウドサービスの利用率は、資本金規模が50億円以上の企業では5割を超える。



クラウドサービスを利用しない理由

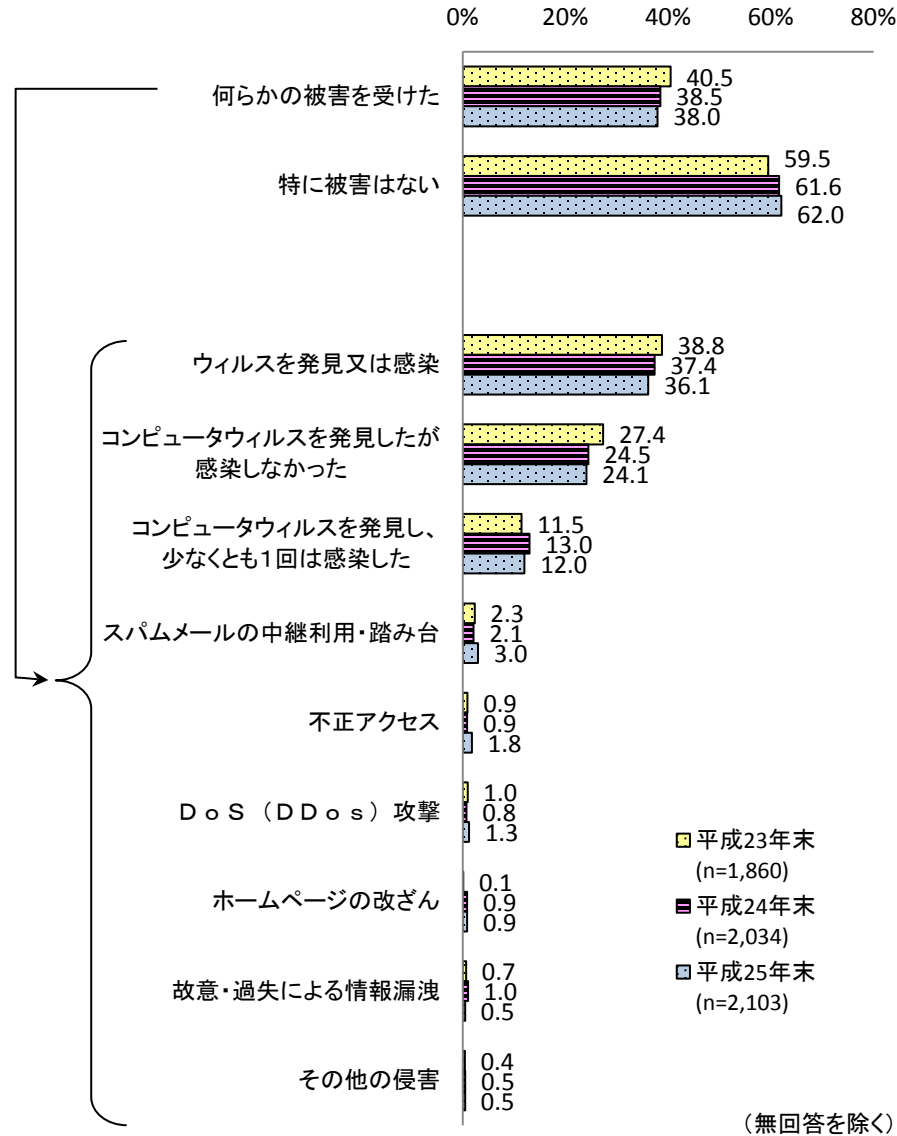
クラウドサービスを利用していない企業は、42.8%が「必要ない」とし、37.4%が「セキュリティ面の不安」を挙げている。



5 企業通信網に対するセキュリティ侵害状況（企業）

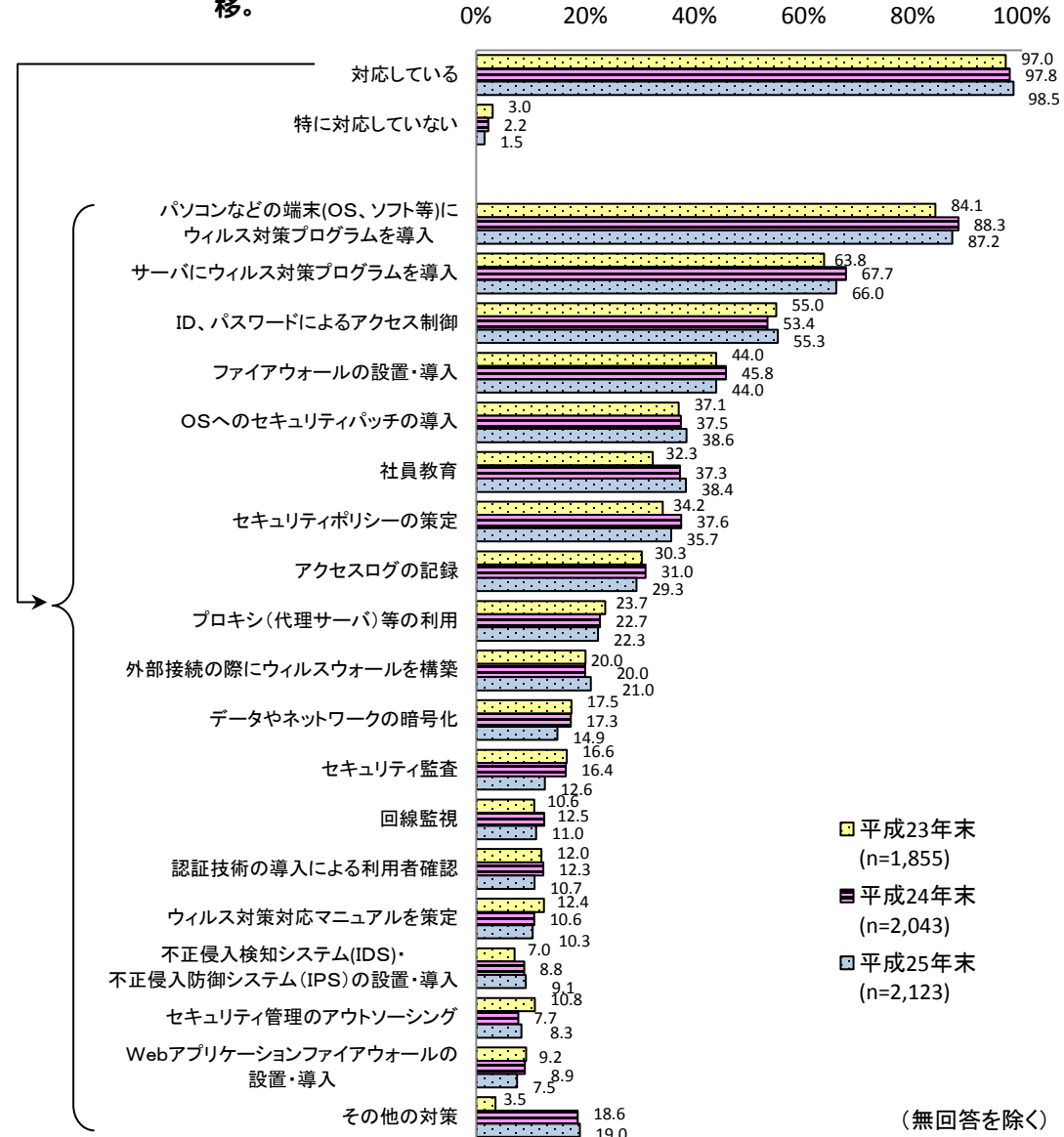
企業の情報セキュリティ被害の状況

情報セキュリティについて何らかの被害を受けたと回答した企業は低下傾向。



企業の情報セキュリティ対策の状況

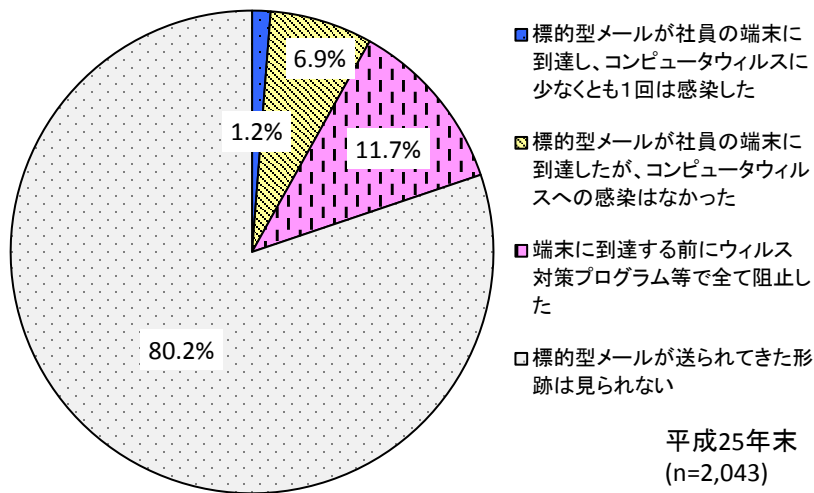
何らかの対策を講じているとの回答が、平成23年調査から平成25年調査にかけていずれも97%以上と高い水準で推移。



6 標的型メールの被害状況と対策の状況（企業）

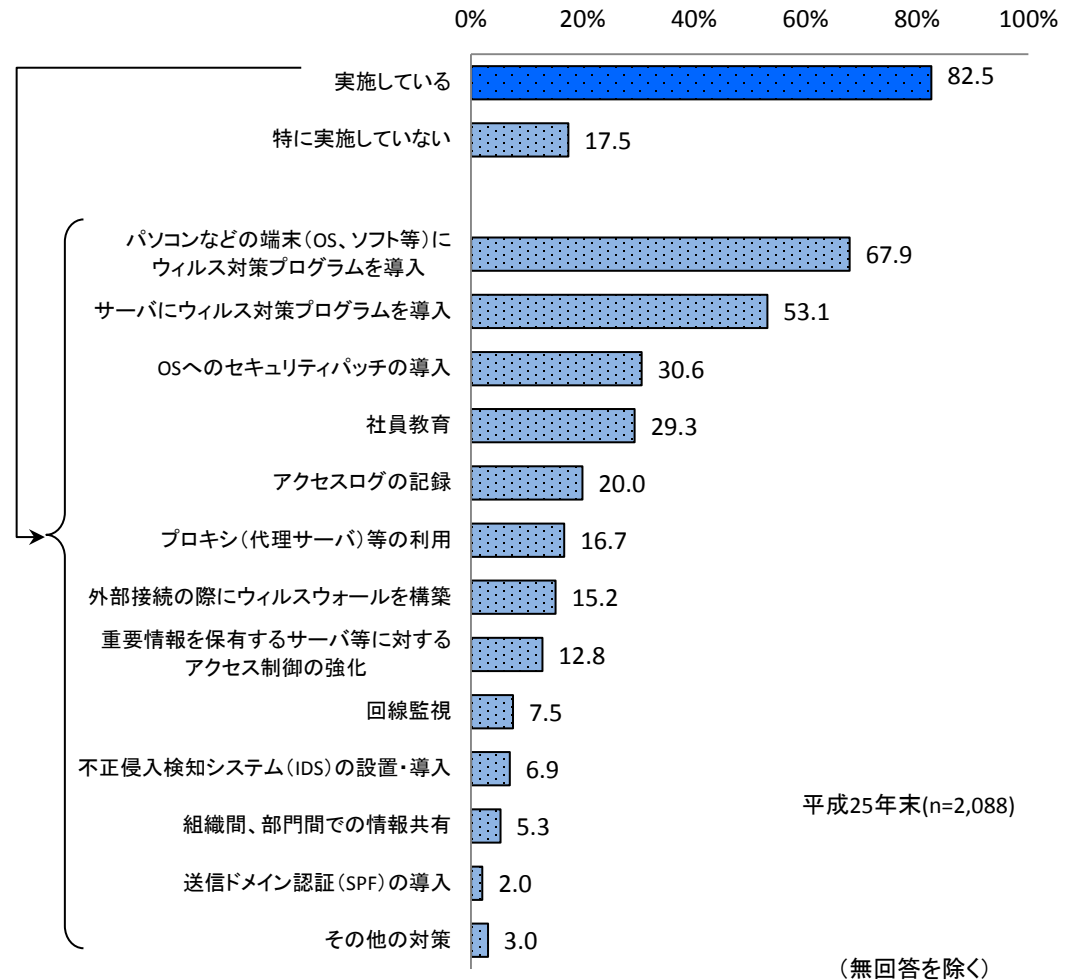
標的型メールの被害の状況

標的型メールの被害を受けたと回答した企業の比率は19.8%。そのうち、1.2%の企業がコンピュータウイルスに少なくとも1回感染。



標的型メールへの対策の状況

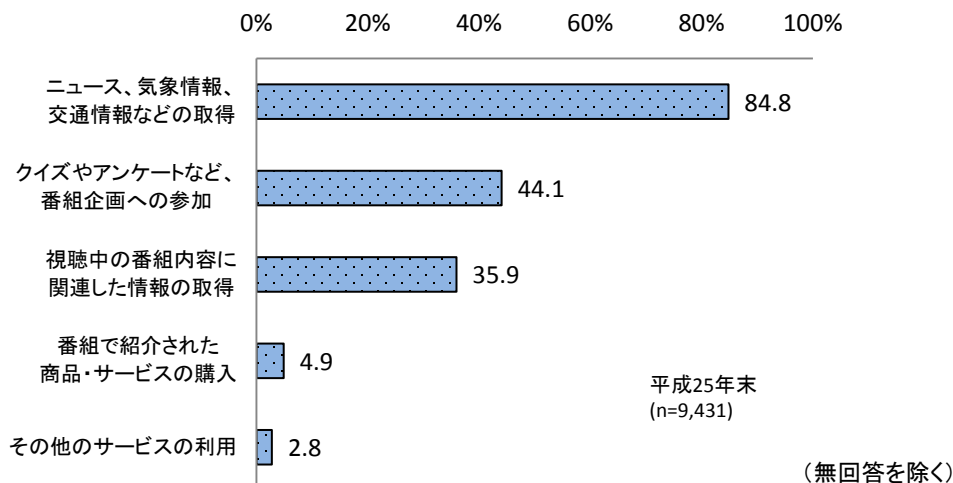
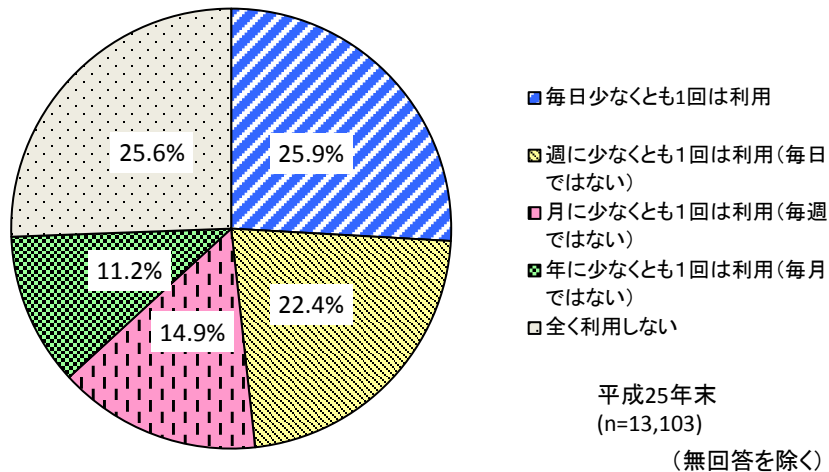
何らかの対策を講じているとの企業の比率は82.5%。実施している対策はウイルス対策プログラムの導入が高い割合。



7 デジタルテレビ放送の利用状況

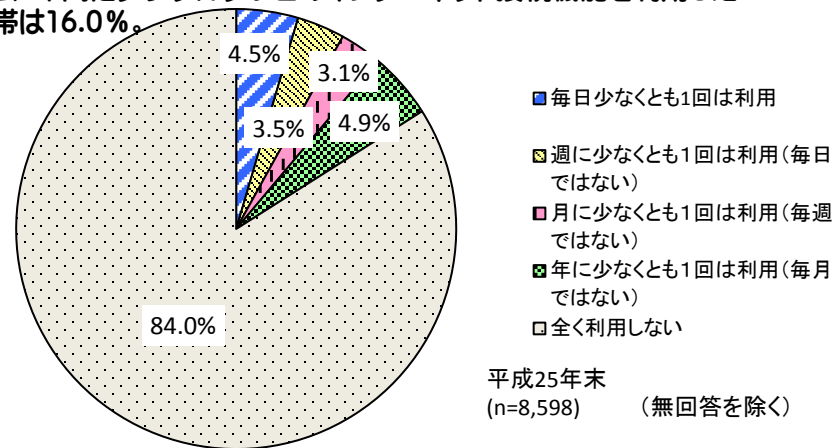
デジタルテレビのデータ放送機能の利用状況(世帯)

世帯の74.4%が過去1年間にデータ放送機能を利用。最大の利用目的はニュースや気象情報等の身近な情報の入手。



デジタルテレビのインターネット接続機能の利用状況(世帯)

過去1年間にデジタルテレビのインターネット接続機能を利用した世帯は16.0%。



デジタルテレビのインターネット接続機能の利用意向(世帯)

6割以上の世帯がインターネット接続機能の利用意向あり。利用目的はVOD等の配信番組の利用意向が高い。

